



第百二十八號 (第十一卷) 昭和六年十二月

噫、閑月平松誠一翁逝く

水 野 千 里

維時昭和六年八月十三日、平松閑月翁九十一歳の 高齢を以て逝く。翁は天保十二年三月二十七日 舊都宇郡下庄村に生れ、安政六年正月 和算家藤田秀齊の門に入り、元治三年三月福田理軒に師事し、測天測地の 法を研鑽し、遂に曆術を授かる。明治四年以來備中一圓、備後六郡、四國各地に 至り測量に従事し、又山陽鐵道豫測、別子銅山鐵道の測量、吉備線の 測量、兒島灣開墾地の水道敷設等に關して功勞渺からず。又測量術を 教授し、その門下中國、四國遠くは武藏、上總等の二十ヶ國に及ぶ。又和算の 大家にして其の著書數十部に達す。又和歌、狂歌、俳道を嗜み、書畫をよくす。

支那天文を研究し、一々の星名を暗記し、火星の 觀測を怠らず。余の翁をその草廬に訪ひしこと數回。然るに今やなし、噫悲しい哉。

- | | | | |
|----|----------|----------|-------|
| 参照 | 1. 天界第一卷 | 岡山支部八月通信 | 平松誠一翁 |
| | 2. 同 | 天體一夜話 | 平松誠一 |
| | 3. 天界第二卷 | 黃道光實見話 | 平松誠一 |
| | 4. 天界第十卷 | 星座の歌 | 平松誠一 |
| | 5. 同 | 平松誠一翁略傳 | 水野千里 |